

初めて
新見インター降りてみた!!



左に行ったら
井倉洞じゃあ



いのししラーメン



野生の猪肉のチャーシューや
スープは濃厚なテイスト。
意外性に加えて食べ応えある
個性派ラーメン

猪が多く棲息する新見では、昔からぼたん鍋などの猪料理が多く食べられていました。そんな中で、この猪を名物にしようと考えられたのが「いのししラーメン」です。いのししラーメンは、農作物への深刻な被害が続いており捕獲頭数も年々増加している猪に着目し、新見商工会議所青年部が町おこし活性化事業として取り組み開発したものです。新見の山野で育った野生の猪肉を手間ひまかけて煮込み焼きあげ、チャーシューで味わう個性派ラーメンです。



天然猪肉と豚肉の
合体チャーシューが美味!

ラーメン評論家

「いぶき」の「猪チャーシューメン」は天然の猪肉を豚肉で包んだ手間を掛けたチャーシューがウリ。丁寧な下処理がなされており、猪の獣臭や変なクセがないので誰にでも食べられる。厚みがあり、柔らかく煮込まれている。スープはしょうゆ、みそ、とんこつとあり、しょうゆで食べてみたが濃口で合っている。猪だけに味噌味も人気。麺は自家製でなめらかな中細ストレート。ネギは九条ネギを使用。



和牛のルーツである
地元産の牛肉を堪能

大崎 裕史氏

千屋牛は新見市千屋地区で育てられている黒毛和牛で希少な肉。「いぶき」の「千屋牛ラーメン」は、それをたっぷり使った贅沢ラーメン。それでも850円とは安く嬉しい。柔らかく煮込まれた牛肉はすき焼き風のタレを使っており、それがスープと合わさって絶妙なおいしさになる。もちろん牛肉は特級のうまさ! 猪チャーシューと千屋牛の両方入ったスペシャルラーメンもある。



※写真提供: (公社)岡山県観光連盟

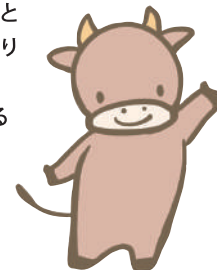
絹掛の滝



千屋牛を柔らかく煮込んだ
チャーシューと、牛骨スープが
大きな特徴のご当地麺。
和風に仕上げたスープは
意外にあっさり味

特に優れた和牛の系統群を蔓牛(つるうし)と呼びます。「竹の谷蔓」「周助蔓」「岩倉蔓」は日本3名蔓といわれ、中でも千屋牛の産地である新見市で生まれ、造成された「竹の谷蔓」が最も古いと歴史に刻まれています。体格がよく足腰が丈夫で、資質品位に優れ、繁殖能力も高いことから全国に広がり、現在の和牛の礎となりました。

それが和牛のルーツといわれるゆえんであり新見ののどかな気候風土の中で、由緒ある産地を大切に守り続けています。



新見ついでにドライブ!!

新見千屋温泉
いぶきの里

新見千屋温泉いぶきの里
千屋の温泉は、アルカリ性の単
純泉。お湯が滑らかで、お肌がつ
るつるになると人気です。

夢すき公園
(親子孫水車)

ミニヤギ牧場

新見美術館

チョウザメの養殖場

満奇洞

井倉洞

絹掛の滝
済渡寺
(白鳥居)

あっこにヤギ、
おるてえ〜!!

はじめて
キャビア
食べた…。

チョウザメの
養殖場行ってみた!!



ミニヤギ牧場で
餌やり体験!
すげえ
かわいい〜



井倉洞

岡山県指定天然記念物「井倉洞」は、新見市井倉、阿哲台地の石灰岩地帯に、長年、雨水等が浸食してできた全長1,200mの鍾乳洞。岡山県高梁川上流県立自然公園にも指定され高梁川沿いにそそり立つ直立240mの絶壁の壁面に入口があり、鍾乳洞の中の天井からぶら下がる「つらら石」、下からタケノコのように立つ「石筍」等、様々な形の鍾乳石が照明に浮かび上がる姿はまさに幻想の世界で、まるで美しい石のカーテンのようです。

ななが良いこと
あるとええなあ



真っ白な世界!!済渡寺の「千白鳥居」

空海(弘法大師)が建てたとされる済渡寺は、平安時代、空海と共に唐から日本に渡り「法尊焼」のもとになる陶器製造技術をもたらしたとされる白龍にちなんで鳥居の色が白色になっています。

すげー
綺麗じゃなあ



満奇洞

満奇洞(まきどう)は、江戸時代末期、猟師が狸を追っているとき発見したといわれ、古くから知られてきました。昭和4年に情熱の歌人と謝野鉄幹・晶子夫婦はこの地を訪れ、榎(まき)という地名から「榎の穴」と呼ばれていた名称を地名にちなんで、「奇に満ちた洞」と詠んだことから、満奇洞(まきどう)と呼ばれるようになりました。



夢すき公園 (親子孫水車)

新見市神郷下神代にある「夢すき公園」には、日本一の親子孫水車が並んでいます。直径13.6mの親水車、6mの子水車、そして4mの孫水車をあわせて、日本一の親子孫水車と呼んでいます。「紙の館」では、備中北部で古くから伝わる奥備中神代和紙の歴史を学ぶことができ、四季折々の草花や色水を使った紙すき体験では、オリジナルのうちわやはがきを作ることできます。

新見美術館

中世新見庄主主屋敷跡に建つ美術館の外観は、中世風のイメージを表すために、入母屋・銅板葺きの屋根と、外観に石を使い、この地方の風土と歴史を盛り込んだ均整のとれた美しい建物です。